

教材教員および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
紙工 紙漉きでフォトフレーム作り	高	しごと 1年Ⅱグループ	

<ねらい>

説明をよく聞いて作業工程に見通しを持ち、丁寧に作業に取り組むことができる。

<工夫点>

はがき用の型を基本とし、手作りの型を真ん中に置くことでフォトフレームの枠の部分のみにパルプ液が入るようにした。

<作成方法・使用方法>

- ① はがきの紙漉きの要領でパルプ液を作り、フォトフレームの型の外に流し込む。
(ミキサーから直接入れにくい時は、小さなカップに移し入れて型に流し込む)
パルプ液を型の上から流し入れ、指先でパルプ液を型から落としてフレームの角端まで行きわたらせる。
- ② 水を切り、吸水機にかける。真ん中が空いているので、枠を回しながらフレームの部分に水を吸わせるようにする。板の上に置いて吸水マットで水分を取る。綿棒を使う時は、力を入れすぎるとフレームの形が悪くなるので、生徒によっては気をつける。
- ③ 同じ色で、はがきの形を漉く。フォトフレームの背面になる。
- ④ 乾いたはがきの形に穴を空けて麻ひもを通し、フレームにクラフトパンチで抜いた飾りを付け、四方を接着剤で綴じて完成。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

中学部から来た生徒は紙漉きに慣れており、工程もよく理解していた。力加減が難しい生徒もいたが、多少の形の崩れも味のうちだと思って、のびのびと制作できたのではないかと思う。

<その他（材料、費用、購入先等）>

フレームの型…防水粘土、防水テープ、塩化ビニール板
はがきの形・フォトフレームの形…色画用紙、牛乳パックのパルプ、麻ひも等